



# 医療福祉・在宅看取りの 地域創造会議 通信第 103 号

(R4/11/8)



## 令和4年度 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 総会・研修会

令和4年8月27(土) 14:00~17:00



次第

### 【総会】

1. 役員について
2. 令和3年度事業報告・決算報告
3. 令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)
4. 今後の在り方検討会からの提案事項について
5. 「規約の改定について」

### 【研修会】

基調講演「意思決定支援を支える ～新型コロナウイルス感染症下からの学び～」

《講師》葛西中央病院 院長 土谷 明男 氏

シンポジウム「コロナ禍の中での看取りを支える支援」

《シンポジスト》

▶ (在宅医療の立場から) 医療法人にじいろ会 おくまファミリークリニック

院長 小熊 哲也 氏

▶ (ケアマネの立場から) 滋賀県介護支援専門員連絡協議会 副会長 岡戸 佳恵美 氏

▶ (施設の立場から) 社会福祉法人野洲慈恵会 あやめの里 施設長 松尾 道子 氏

《コーディネーター》

土谷 明男 氏

角野 文彦 (医療福祉・在宅看取りの地域創造会議事務局長/滋賀県健康医療福祉部理事)



越智代表幹事

私自身、施設の嘱託医として終末期を看取る立場にあるが、生命の偉大さや尊厳を実感している。今日の研修会が皆さんの活動に役立ち、更なる研鑽の場となることを祈念している。

これまでの地域創造会議の活動の積み重ねを、本当に心強いことだと改めて思う。また今回の在り方の見直しは、全世代を対象に、どうより良く生き、どうより良く老いるかをテーマに活動していこうという改革だと承知している。県の死生懇話会ともさらにつながっていければ良いと思う。



三日月滋賀県知事

研修会では、「コロナ禍からの学びを共有し、今後の医療やケアにどう活かすか」をテーマに基調講演とシンポジウムを行い、4名の講師の方々にご登壇いただきました。参加者の感想とあわせて、一部ご紹介します。

### 【基調講演】

コロナ感染のリスクよりも、看取りの状態にあることをご家族が実際に目にするの方が意味があると思っている。

また、ご家族は良い話を望むが医療界で備えなければならないのは悪い話。現実をしっかりと見据えて幅のある見通しを共有することが大切。



土谷明男氏

### 【シンポジウム】

気持ちだけでもコロナに振り回されないようにと思っている。振り回されない程度に、患者がやりたいと思うことを今の状況の中でも出来るだけやってあげたい。



小熊哲也氏

「入院したら最期に面会できない」ことが、在宅看取りを決めた理由の一つになっている。コロナ禍で改めて対面の大切さが身に染みたが、今後は ICT の活用をもっと円滑にすることが大事になってくると思う。



岡戸佳恵美氏

面会でご家族がご利用者と接することも大切だが、日頃どれだけ大切に扱われているか、どんな人が自分の家族を看ているのかを知っていただくことが非常に重要と考えている。



松尾道子氏

看取りは人生最期の時。コロナ禍であっても家族や親しい人との接点があれば、本人、家族、支援者にとって幸せなゴールにつながると思います。

新たなツールを皆が使えるようになり、環境整備ができてきていることはとても良いと思う。

受付中!

### 「滋賀の医療福祉を守り育てる」 県民フォーラム



今年のテーマは「いつまでもイキイキ! ハツラツ!」  
いつまでもイキイキと社会とつながるために、尿もれ予防につながる簡単な体操やセルフマッサージによる若見え講座、効果的なウォーキング講座など、共に楽しく学ぶフォーラムを開催します。

【開催日時】令和4年11月27日(日)  
14時~16時30分(受付13時30分~)

【会場】ピアザ淡海 ピアザホール  
(大津市におの浜1-1-20)

※Webによるリアルタイム配信も実施

【会場定員】200名(定員に達し次第、締切ります)

【参加費】無料

※参加者には滋賀県産米「みずかがみ」、オリジナルノートを進呈

【会場参加の申込み方法】

ホームページの専用申込フォームから

【申込締切】11月17日(木)



コロナ感染者増大で家族の思いを受け止めて看取りをすることに限界があるように思った。チームで連携して支えてあげられる支援を心掛けたい。

### 【総会のご報告】

今年4月、事務局から依頼した9名の会員様と共に「今後の在り方検討委員会」を立ち上げ、これまでの活動の評価や今後の在り方・方向性の検討、更なる発展を目指すための話し合いをしてまいりました。総会では、検討委員会で話し合った事柄を提案事項として発表させていただき、参加された皆様からの承認を得ましたことをここにご報告いたします。

これにより、来年度から当会議の名称を

「医療福祉の地域創造会議 ～人生楽しくイキイキ生きる～」

と改め、新たに「地域交流事業」を加え活動します。ここでは各地域の研究会などを対象に相互に学ぶ機会を設け、地域実践のブラッシュアップや好事例の横展開を図ってまいります。

来年度以降も、新しくなった地域創造会議をよろしくお願ひします!

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議事務局(県庁医療福祉推進課内)

e-mail: info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

HP: mitori.siga.jp

